

FireAMP コネクタ インストーラのコマンド ライン スイッチ

目次

[はじめに](#)

[コマンドライン スイッチ](#)

[使用可能なスイッチ](#)

[デフォルトのスイッチ](#)

[リモート配置ツールによってインストールして下さい](#)

[スイッチの仕様なしでインストールして下さい](#)

[サポートされていないオペレーティング システム \(OS\)](#)

[アンインストール](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Sourcefire FireAMP コネクタ インストーラで利用可能なスイッチのリストを記述したものです。Sourcefire FireAMP コネクタのインストーラには、コマンドライン スイッチが組み込まれています。これらのスイッチを導入ソフトウェアで使用し、FireAMP の導入を自動化することができます。

注意： 対象のネットワークが稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

コマンドライン スイッチ

Windows のための AMP コネクタのバージョン 5.1.13 で開始して、渡される除去される次の引数は処理されます。ちょうどダミーのスイッチである最初の引数は「/R」である必要があります。どのコマンド・ラインでも、更新インストールし、最初の引数としてこの引数を含む必要をアンインストールします。例については次を参照して下さい。

Silent Install Examples:

```
v5.1.13 or newer: amp_install_package.exe /R /S
```

```
v5.1.11 or older: amp_install_package.exe /S
```

Uninstall Example:

```
v5.1.13 or newer: amp_install_package.exe /R /S /remove 1
```

```
v5.1.11 or older: amp_install_package.exe /S /remove 1
```

使用可能なスイッチ

コマンドライン スイッチ コマンドの説明

/R /S インストーラをサイレント モードに切り替える場合に使用します。
//S インストーラをサイレント モードに切り替える場合に使用します。
/tempopath 得られ、実行されたインストール ファイルのためのカスタム一時的な場所を規定しました。
//desktopicon 0 デスクトップ アイコンが作成されないように指定する場合に使用します。
//desktopicon 1 デスクトップ アイコンが作成されるように指定する場合に使用します。
//startmenu 0 [Start] メニューのショートカットは作成されません。
//startmenu 1 [Start] メニューのショートカットが作成されます。
//contextmenu 0 右クリック コンテキスト メニューの [Scan Now] が無効になります。
//contextmenu 1 右クリック コンテキスト メニューの [Scan Now] が有効になります。
//remove 0 より遅い再インストールのためのファイルを置き去りにするコネクタをアンインストールし、すべての関連ファイルを取除きます。
//remove 1 コネクタをアンインストールし、すべての関連ファイルを取除きます。
//uninstallpassword [Connector Protection Password] ポリシーでコネクタの保護を有効にしていた場合は、コネクタをアンインストールします。
//skipdfc 1 DFC ドライバのインストールをスキップします。
//skiptetra 1 TETRA ドライバのインストールをスキップします。

//D=[PATH] インストールを実行するディレクトリを指定するために使用します。例：/D=C:\

//overridepolicy 1 以前のコネクタ インストール上にインストールした場合は、既存の policy.xml ファイルを置き換えます。

//overridepolicy 0 以前のコネクタ インストール上にインストールした場合は、既存の policy.xml ファイルを置き換えないでください。

/goldenimage 1 コネクタを金 images の準備をするためにインストールします

デフォルトのスイッチ

リモート配置ツールによってインストールして下さい

リモート導入ツールで使用する場合、次の追加フラグを使用し、最初に宣言されます。

v5.1.13 or newer: /R /S
 v5.1.11 or older: /S

スイッチの仕様なしでインストールして下さい

コマンドライン インストーラを実行し、スイッチを指定しない場合は、次のスイッチが有効になっていることと同等になります。

```
/desktopicon 0 /startmenu 1 /contextmenu 1 /skipdfc 0 /skiptetra 0
```

サポートされていないオペレーティング システム (OS)

Windows オペレーティング システムのバージョンが FireAMP で現在サポートされていないものの、テストのために FireAMP コネクタをインストールする場合は、次のスイッチを使用できます。

```
/skiposcheck 1
```

このスイッチは、次のように使用します。

```
FireAMPSetup.exe /skiposcheck 1
```

アンインストール

注: アンインストールのためのスイッチはインストール パッケージおよび `uninstall.exe` に対して実行する必要があります。

コネクタ 5.1.11 の無声及び**完全な**アンインストールをまたはより古い行うために、スイッチは次のとおりです:

```
FireAMPSetup.exe /S /remove 1
```

コネクタ v5.1.13 の `silent` 及び**完全な**アンインストールをより新しい行うために、`switch` は次のとおりです:

```
FireAMPSetup.exe /R /S /remove 1
```

`/S` スイッチを取除くことによって非 `silent` モードの `perform` これらまたできます。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)
- [Cisco AMP for Endpoints - TechNotes](#)
- [Cisco AMP for Endpoints - ユーザガイド](#)